

2019年12月13日  
行政報告資料  
町田市民病院事務部 経営企画室

## 町田市民病院中期経営計画（2017年度～2021年度）の進捗状況について（2019年度上半期）

町田市民病院では、質の高い医療サービスを提供し、安定した病院経営を維持していくために、「町田市民病院中期経営計画（2017年度～2021年度）」を策定し、これに基づき、経営改善を進めております。

このたび、2019年度上半期の進捗状況をまとめましたので、その結果を報告いたします。

### 添付資料

- ・ 町田市民病院中期経営計画（2017年度～2021年度）の進捗状況について（2019年度上半期）

# 町田市民病院中期経営計画（2017～2021年度）及び事業計画の進捗状況について（2019年度上半期）

2019年12月13日  
行政報告資料  
町田市民病院事務部経営企画室

## 1. 患者・マーケットに関する取組 ～患者サービスの向上と医療連携の推進～

項目及び中期経営計画の目標値	事業計画目標	事業計画目標に対する結果	主な取組内容	2019年度(上半期)の実績
(1) 患者満足度の向上 【2019年度】 入院患者満足度 90% 外来患者満足度 85%	入院患者満足度 90% 外来患者満足度 90%	入院患者満足度 90.2% 外来患者満足度 87.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者給食の充実</li> <li>外来待ち時間の短縮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月に患者満足度調査を実施しました。</li> <li>10月以降の契約に向け、給食業務委託に関する事業者選定のプロポーザルを実施しました。患者満足度調査で評価が低い病棟に絞って患者アンケート(給食)を実施し、その結果を踏まえて献立を改定する予定です。</li> <li>外来待ち時間の短縮を図るため、診療予約が集中する時間帯・診療科を洗い出し、効率的な予約枠の作成を目指し検討を進めています。</li> </ul>
(2) 情報提供の充実 【2021年度】 病院ホームページアクセス件数 12万件/月 【2019年度】 病院ホームページへのクリニカルパス掲載数 60件	病院ホームページアクセス件数 11万件/月 病院ホームページへのクリニカルパス掲載数 60件 市民公開講座の開催回数 6回	12.4万件/月 48件 3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>見やすさを重視したホームページの整理</li> <li>ホームページへのクリニカルパス掲載</li> <li>市民公開講座の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者目線の見やすいホームページを目指して、2020年度を目途にホームページをリニューアルすることを決定しました。</li> <li>ホームページに患者用クリニカルパス一覧のページを新たに作成し、今後掲載件数を増やしていく予定です。</li> <li>市民公開講座は、5月と7月と8月に開催し、延べ264人の参加がありました。うち1回は市民フォーラムにて医師会と共催で開催し、107名の参加がありました。</li> </ul>
(3) 医療連携の推進 【2019年度】 紹介率 65% 逆紹介率 45% 【2020年度】 地域医療支援病院 承認	紹介率 70% 逆紹介率 70% 地域連携交流会開催回数 2回 情報添付加算算定率 45% 地域医療従事者向け研修 15回 医療機関訪問件数 30件	75.3% 65.4% 0回(下半期に実施) 50.0% 9回 27件	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域医療支援病院としての機能強化</li> <li>地域医療従事者向け研修の実施</li> <li>医師同行医療機関訪問の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師同行で地域医療機関への訪問などを行った結果、紹介率は75.3%となり、2018年度実績(70.7%)と比べて4.6ポイント増加しました。</li> <li>かかりつけ医への退院患者の診療情報の提供を積極的に継続したことで、逆紹介率は65.4%となり、2018年度実績(65.6%)と同じ水準を維持することができました。</li> <li>市内医療機関を対象とした地域連携交流会を2019年12月に開催する予定です。また、2020年2月に相模原市内医療機関を対象とした地域連携交流会を開催する予定です。</li> <li>情報添付加算算定率は50.0%となっており、目標を上回っています。今後も医師事務作業補助者を活用して、患者が退院後も安心して治療を続けられるよう努めていきます。</li> <li>地域の医師や看護師等を対象とした研修を9回実施しました。</li> </ul>
(4) 高齢患者に安心な退院支援の充実 【2019年度】 退院支援件数 1,400件/年 (「退院支援加算2」の算定件数)	退院支援件数 2,500件/年 (「退院支援加算1」の算定件数) ※退院支援加算1と退院支援加算2の主な違い ・病棟への退院支援職員の配置の要否 ・面談、カンファレンスの実施期限の有無	1,241件/半年	<ul style="list-style-type: none"> <li>退院支援の実施</li> </ul>	入退院支援加算算定件数は1,241件となっており、目標を概ね達成できる見込みです。患者さんが退院後も住み慣れた地域で療養生活が継続できるよう、入院から退院後の生活まで切れ目のない支援をするために、退院支援看護師とソーシャルワーカーのペア制を導入して、入院早期から適切な支援を実施しています。
(5) 小児医療・周産期医療の確保 【2019年度】 小児入院患者数 22人/日 母体搬送受入件数 75件/年	小児入院患者数 22人/日 母体搬送受入件数 100件/年	19人/日 44件/半年	<ul style="list-style-type: none"> <li>小児入院体制の維持</li> <li>ハイリスク妊産婦の積極的な受入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来診療や予防接種の充実等により入院が必要な児童が減少しており、小児入院患者(新生児内科含む)は19人/日となりました。なお、医師会との連携強化により、紹介率は85.4%と2018年度実績(74.1%)に比べて11.3ポイント増加しました。市内で唯一の小児入院医療施設として、一般診療の他、循環器外来やアレルギー外来などの専門診療を行っています。</li> <li>母体搬送受入件数は44件(7件/月)となりました。南多摩保健医療圏で唯一の地域周産期母子医療センターとして、今後も積極的な受け入れを行っています。</li> </ul>

# 町田市民病院中期経営計画（2017～2021年度）及び事業計画の進捗状況について（2019年度上半期）

## 2. 収支改善に関する取組 ～収益の向上と費用の削減を図ります～

項目及び中期経営計画の目標値	事業計画目標	事業計画目標に対する結果	主な取組内容	2019年度(上半期)の実績
<p>(1) 病床の安定的稼働</p> <p>【2021年度】 病床利用率 85% 新入院患者数 1,000人/月</p>	<p>病床利用率 81.0% 新入院患者数 960人/月 ベッドコントロール体制の再構築 有償利用率 50%</p>	<p>79.2% (一般82.7%、特定58.3%) 906人/月 実施 48.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>稼働率の低い病床の活用方法の検討</li> <li>入院患者の円滑な受入</li> <li>特別室の利用率向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院全体の病床利用率は79.2%となり、2018年度(78.5%)から0.7ポイント上昇しました。一般病棟の病床利用率は82.7%と2018年度実績(82.6%)と比べ0.1ポイント増加しました。特定入院料を算定している小児病棟や緩和ケア病棟などの病床利用率は58.3%と、2018年度実績(53.8%)を4.5ポイント増加しました。稼働率の低い病床の活用について、プロジェクトを立ち上げて、2020年度の病床再編に向けて取り組んでいます。</li> <li>新入院患者数は906人/月となり、2018年度実績(900人/月)を上回っています。</li> <li>ベッドコントロール体制を再構築し、朝夕の2回、病棟師長による調整会議を行っており、入院患者の円滑な受け入れにつながっています。</li> <li>入退院支援センターにおいて特別室の案内を強化すること等により、有償利用率は48.9%となり、2018年度実績(46.7%)と比べて2.2ポイント増加しました。</li> </ul>
<p>(2) 診療単価の上昇</p> <p>【2020年度】 入院単価 58,000円 外来単価 14,500円</p>	<p>入院単価 62,500円 外来単価 12,500円 総合入院体制加算2の維持 入院3日以内入院精神療法件数 25件/年 ハイケアユニット入院医療管理料 チーム加算の取得</p>	<p>63,078円 12,162円 維持 53件/半年 検討中 検討中</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規施設基準の取得</li> <li>慢性期患者の逆紹介の推進</li> <li>算定率向上に向けた取り組みの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合入院体制加算2については、月次で実績要件をチェックし施設基準を維持することが出来ました。</li> <li>入院3日以内入院精神療法件数は、スクリーニングの強化により目標を達成することができました。</li> <li>以上の取り組みなどにより、入院単価は63,078円と目標を上回っています。外来単価は12,162円と目標を下回っていますが、2018年度実績(11,771円)と比べて391円増加しています。</li> <li>「ハイケアユニット入院医療管理料」の施設基準取得について、引き続き検討を進めていきます。</li> <li>排尿ケアチーム加算取得に向けて、排尿ケアマニュアルの作成を進めています。</li> </ul>
<p>(3) 材料費の削減</p> <p>【2017年度】 ジェネリック医薬品使用量比率(DPC) 80% (入院のみ)</p> <p>【2020年度】 材料費削減額 500万円/年 (単価差積算ベース)</p>	<p>院外処方率 90% 薬品費の値引き率 11.0% 診療材料費削減額 550万円/年 (単価差積算ベース)</p>	<p>88.0% 11.75% 336万円/半年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来患者への院外処方の推進</li> <li>薬品費の削減</li> <li>診療材料費の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院患者に対する薬物療法の有効性・安全性の向上のため、2018年度から病棟専任の薬剤師を配置しています。薬剤師が病棟薬剤業務に注力するためにも、院外処方のさらなる徹底を行うよう、院内で周知を行っていきます。</li> <li>薬品の値引き交渉を行った結果、値引率11.75%(6月末までの購入実績に基づく)で妥結し、半年間で約380万円の削減となりました。</li> <li>共同購入、商品切替、価格交渉により、診療材料費を半年で約336万円削減しました。</li> </ul>
	<p>【その他】 電気使用量 前年度比5%減 施設状況調査及び活用方法検討 自動精算機の使用率 90%</p>	<p>0.57%増 検討 52.2%(7月時点)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気使用量の削減</li> <li>院内空きスペースの有効活用</li> <li>会計窓口の効率化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏場の猛暑の影響により、上半期の電気使用量は231万kWhとなり、2018年度に比べて0.57%増加しました。</li> <li>病院内のスペースの利用状況調査の方法を検討しました。</li> <li>会計窓口の契約が切り替わる10月に向けて、十分に活用されていない自動精算機の利用を増やすため、自動精算機への誘導を検討し、患者への周知をしました。</li> </ul>

# 町田市民病院中期経営計画（2017～2021年度）及び事業計画の進捗状況について（2019年度上半期）

## 3. 業務向上に関する取組 ～病院機能の向上を図ります～

項目及び中期経営計画の目標値	事業計画目標	事業計画目標に対する結果	主な取組内容	2019年度(上半期)の実績
(1) 救急診療体制の充実 【2020年度】 救急車による受入患者数 460人	救急車による受入患者数 455人/月 救急応需率 75%	498人/月 東京消防庁にて集計中	・救急隊との連携強化	・救急車の積極的な受け入れを継続し、救急車による受け入れ患者数は498人/月となり、2018年度実績(480人/月)と比べて、18人/月(3.4%)増加しました。救急応需率については、東京消防庁にて集計中です。 ・連携強化のために、地域医療に関する委員会、地域の救急医療体制について、消防署代表や医療関係者と意見交換を行いました。
(2) 災害拠点病院としての機能の充実 【2017年度】 連携訓練回数 1回/年	連携訓練回数 1回/年 南多摩保健医療圏災害拠点病院間における通信訓練 1回/年 DMAT隊1編成の維持 災害支援ナース登録数	1回/年 1回/年 維持	・災害時を想定した医療機関等との連携推進 ・DMAT隊員の養成 ・災害支援ナースの養成	・東京都の連携訓練及び南多摩保健医療圏通信訓練に参加しました。 ・DMAT隊1編成を維持し、国の総合防災訓練に参加しました。 ・日本看護協会の災害支援ナース育成研修へ1名が参加し、災害支援ナースの登録者数は10名になりました。
(3) 急性期病院としての質の向上 【2019年度】 手術件数 4,360件/年 (麻酔科管理件数 2,900件/年) リハビリ実施単位数 5,000単位/月	手術件数 4,475件/年 (麻酔科管理件数 2,955件/年) リハビリ実施単位数 5,500単位/月 悪性腫瘍手術件数 400件/年 クリニカルパスの見直し 特別食加算算定率(糖尿) 82% 予定入院患者に対する持参薬事前確認体制の構築	2,383件/半年 (1,545件/半年) 5,982単位/月 280件/半年 クリニカルパス 見直し実施 77.4% 調整中	・手術室運営の効率化 ・急性期リハビリの充実 ・がん治療の強化 ・クリニカルパスの定期的な見直し ・PFMの推進 (入院前から退院までの一貫した支援)	・外科・眼科などの手術件数が増加し、手術件数2,383件、麻酔科管理件数1,545件となり、目標を達成できる見込みです。 ・リハビリ実施単位数は、5,982単位/月となり、2018年度実績(5,667単位/月)を315単位/月(5.6%)上回っています。また7月から土曜日のリハビリを実施しています。 ・悪性腫瘍手術件数は280件/半年となり、2018年度実績(571件/年)と同じ水準を維持することができました。 ・診療科毎に、DPCデータを用いたクリニカルパスの見直しを行いました。 ・入退院支援センターと栄養科の連携を強化する事で、特別食加算算定率(糖尿)は77.4%となり、2018年度実績(76.1%)と比べて1.3ポイント増加しました。 ・持参薬事前確認の体制について、入院時の薬剤管理が適切に行えるよう検討を進めています。
(4) 病院機能評価の更新 【2017年度】 病院機能評価の更新	定期的な業務改善の実施	実施中	・業務改善の継続的な実施	・前回認定時にB評価となった項目について、各部門からの改善報告を集約しました。その内容を精査し、委員会等において業務改善の推進活動を行っています。
(5) 外来機能の効率化 【2021年度】 外来患者数 1,000人以下/日 【2019年度】 地域連携予約枠利用者数 400人/月 逆紹介件数 970人/月	外来患者数 1,070人/日 逆紹介件数 1,250件/月 文書作成補助業務従事者数 9人 医師事務作業補助者による返書作成件数 916件/月	1,099人/日 1,228件/月 9人 1,232件/月	・医師の負担軽減	・外来患者数は1,099人/月となり、2018年度実績(1,126人/月)と比べて27人/月(2.4%)減少しました。 ・退院患者に対するかかりつけ医への積極的な情報提供を継続した結果、逆紹介数は1,228件/月となり、目標をわずかに下回っています。なお、2018年度実績(1,296件)と比べて68件/月(5.2%)減少しました。 ・地域医療機関からの紹介予約数は445件/月となり、2018年度実績(422件/月)と比べて23件/月(5.5%)増加しました。 ・医師の負担を軽減するため、医師事務作業補助者による積極的な返書作成を進めた結果、目標件数を大幅に上回ることができました。
(6) 外来化学療法センターの運営効率化 【2019年度】 化学療法実施件数 200人/月	化学療法実施件数 200人/月	184人/月	・ベッドの効率的な運用	・外来化学療法件数は、184件/月となり、2018年度実績(180件/月)と比べて4件/月(2.2%)増加しました。また、化学療法委員会から診療科へ働きかける事で、曜日毎の予約数のバラつきが改善しました。

# 町田市民病院中期経営計画（2017～2021年度）及び事業計画の進捗状況について（2019年度上半期）

## 4. 進化・成長に関する取組 ～人材の安定確保と育成を図ります～

項目及び中期経営計画の目標値	事業計画目標	事業計画目標に対する結果	主な取組内容	2019年度(上半期)の実績
<p>(1) 質の高い病院職員の安定確保</p> <p>【2021年度】 (常勤職員数) 医師 93人 医療技術 97人 看護師等 402人 事務 42人 (うち病院専任) 14人 計 634人</p>	<p>病院専任事務職員数 13人 臨床研修指導医 20人</p>	<p>13人(うち育休1名) 18人(年度末で20人の予定)</p>	<p>・病院事務職員の専門性向上 ・研修医師の指導体制の充実</p>	<p>・医事課に医療ソーシャルワーカーを1名採用し、病院専任事務職員は13人(医事事務8名、医療ソーシャルワーカー5名)となりました。</p> <p>・臨床研修指導医は、2018年度末に1名が退職し18名となりましたが、2名が指導医講習会の受講を予定しており、20名となる予定です。</p> <p>&lt;2019年9月時点&gt; 医師 85人 医療技術 101人 看護師等 391人 事務 39人 (うち病院専任) 12人 計 616人 ※育休及び休職者は含まず</p>
<p>(2) 質の高い医療従事者の育成</p> <p>【2019年度】 医療安全・感染対策講習会延参加人数 3,600人/年</p>	<p>医療安全講習会受講率 100% 感染対策講習会受講率 100%</p>	<p>医療安全講習会受講率：38% (9/26時点) 感染対策講習会受講率：99.4%</p>	<p>・医療安全・感染対策などの研修の必修化 ・医療管理職研修の開催</p>	<p>・感染講演会を8回実施し、延べ参加人数は970人となり、参加率は99.4%となりました。</p> <p>・医療安全講習会を開催し、当日の受講者は328人となりました。今後、講習会当日に受講できなかった職員を対象に、ビデオ上映やDVD貸出を行い、全職員の受講を目指します。</p> <p>・医療管理職研修については、今後、研修管理委員会の中で検討を行う予定です。</p> <p>・認定看護師が2名増加し10分野17名となりました。</p>
<p>(3) 職員満足度の向上</p> <p>【2021年度】 職員満足度 65%</p>	<p>職員満足度調査結果に基づいた業務改善</p>	<p>一部実施</p>	<p>・職員満足度調査結果に基づいた業務改善</p>	<p>病院経営特別講座「市民病院のお財布事情」を開催し、100人の参加者がありました。講座では、過去5年の現金残高の推移や今後控えている電子カルテ更改等、出費の見通しなどを分かりやすく説明し職員のコスト意識の醸成を行いました。</p>